

研究授業並びに研修会の報告

1 日時・場所 平成27年3月5日(木) 13:25~16:30 八王子市立陵南中学校

2 出席者

東京都中学校理科教育研究会会長
環境教育委員会委員長
環境教育委員会副委員長
他17名(計20名)

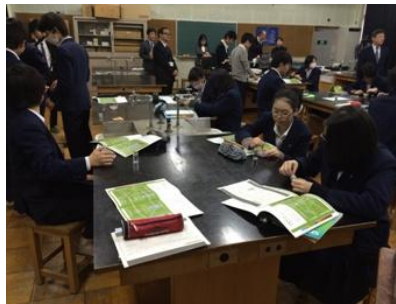
田中 史人(八王子市立松木中学校長)
清水 和彦(八王子市立陵南中学校長)
岩崎 守也(八王子市立南大沢中学校長)

3 内 容

(1) 研究授業

- ① 単元名 「原子力とその利用」
- ② 学級 3年3組
- ③ 授業者 八王子市立陵南中学校 中島 悟 主任教諭
- ④ 本時の目標

- ・原子力発電の利点や問題点を知る。
- ・放射性廃棄物の処理方法について、NUMO(原子力発電環境整備機構)の方から実習を通して知る。



(2) 研修会

テーマ 「放射線の問題と廃棄物処理の基礎知識」

NUMO(原子力発電環境整備機構)の放射性廃棄物の地層処分に向けた取り組みについて講演を聞いた。

放射性廃棄物の地層処分とは、放射性廃棄物を→ガラス固化体→オーバーパック(金属製の容器)→緩衝剤(締め固めた粘土)→岩盤、の順で覆い、地下300mの所に保管する方法とのことである。

また保存期間は、約1万年とのことである。現在ガラス固化体25000本が地上で保管されており、将来的には、放射性廃棄物の処理施設の設置が、必要になるとのことである。

